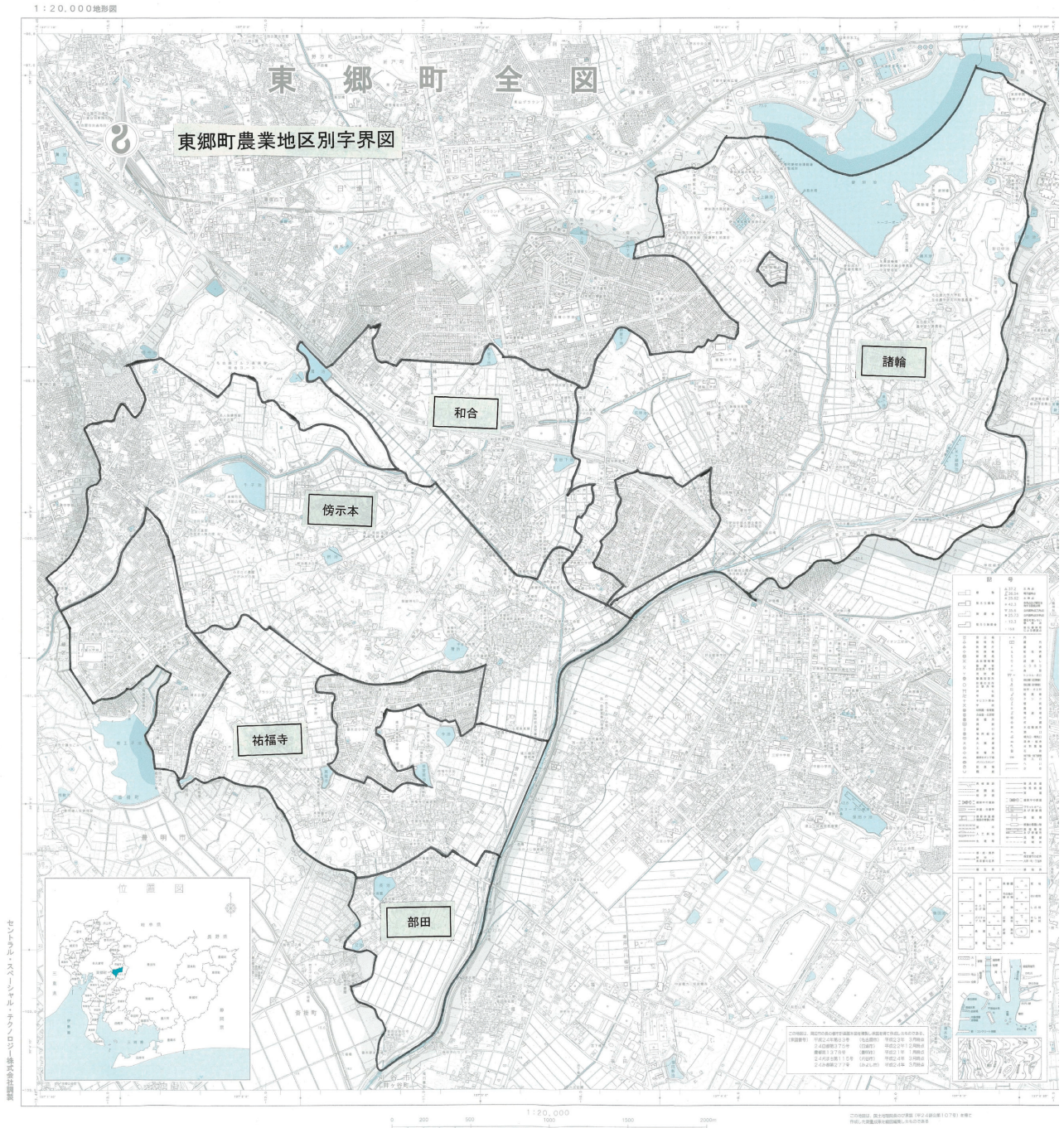


第2章 農業をめぐる現状と課題



3 東郷町の農業をめぐる課題

本町では、昭和40年代からの土地改良事業により、農業生産基盤の整備を進めてきました。

しかし、名古屋市と豊田市の中間に位置する地理的条件と豊田市を中心とする自動車産業の発展の影響により、農地の宅地化や農業従事者の高齢化及び他産業への農業労働力の流出が進み、農業従事者の高齢化により農地と農業従事者が減少しています。

こうした状況の中で、都市近郊としての特色ある農業、活力ある農業を育成し、特産品となる農作物・加工品の開発・普及や農業の6次産業化及び町内農作物の一層の地産地消を進めるとともに、農家の経営規模の拡大及び農業の収益性を確保する必要があります。

また、新規就農者への利用権設定等を進め、耕作放棄地、不作地を解消する必要があります。

その上で、環境に配慮した農業生産を図り、消費者ニーズに対応した食の安全・安心の確保を目的とした、信頼性の高い農産物の生産体制を確立することが必要です。

町民が食を生み出す農業や自然の多様な恩恵に関する理解を通じて、農業に参画し、生産者とともに育むことのできる農業を推進していくことが重要です。

東郷町の 農業の課題

① 町内農産物の普及・啓発

② 農業の収益性の確保

③ 高齢化による担い手不足

④ 耕作放棄地及び不作地の解消

⑤ 町民の農業参画の推進